

さい

Like You

ゆら



食育講座

今年の夏はとつても暑くて、もうしおれそうだったよ。そして、そのあとにはあの大雨でしょう……。隣を流れる荒川の水がいつ押し寄せてくるか冷や冷やしたよ……。(><)。でも、私たち頑張って大きくなったよ。

だって、5月のきれいな空の下でみんなが植えてくれたんだもの。楽しくお料理しておいしく食べて、みんなが笑顔になるのをみたいから。12月のお料理教室、楽しみにしているよ！

さつまイモ子



上の写真は、食育講座「親子で挑戦！サツマイモ苗植え・収穫・料理体験」の様子です。

「食育」とは、食を通して人間として生きる力を育むことです。食事をするということは、野菜や料理を作ってくれる人がいたり、家族と一緒に食事をすることで「おいしい」を共感したり、一日の出来事を話したり、いろいろな人の力と助けがあってやっとおいしく食事ができ、感謝の気持ちを持つことができるということだと思います。そういう日々の繰り返しのなかで心の絆が生まれ、子どもの心（家族みんなの心）を安定させ、一緒に成長していけるのではないのでしょうか。





ちょっと教えて!

男女共同参画アンケート結果



in家族フェスタ



「家族フェスタ」のタイムトンネルで懐かしい時によろこばい! ブンブンゴマ

市男女共同参画推進委員会は、家族フェスタに来場した子育て世代の親御さんにゆっくりしていただくため、茶話会とワークショップを企画しました。

茶話会では、しそジュースの提供、ワークショップはブンブンゴマ作りに、アンケートと少し盛りだくさんになりました。会場は、牛乳パックを切ったものに思い思いにシールを貼ったり、絵や模様を描いたりしてコマを完成させ、できあがった自作のコマを回して大人も子どもも夢中になり、私たちの予想を上回る人気でした。「おいしい!」と言ってしそジュースのおかわりもありました。

持ち帰ったコマは、それぞれのご家庭で勢いよく音を立てて回ったでしょうか。子どもの頃の新鮮な記憶は、いつまでも温かく懐かしい思い出として残り、季節や台所の香りまでふと蘇るかもしれません。

当日は、親御さんがゆっくりとまではいかなかったようですが、ご家庭の楽しいひと時になっていたらうれしいです。

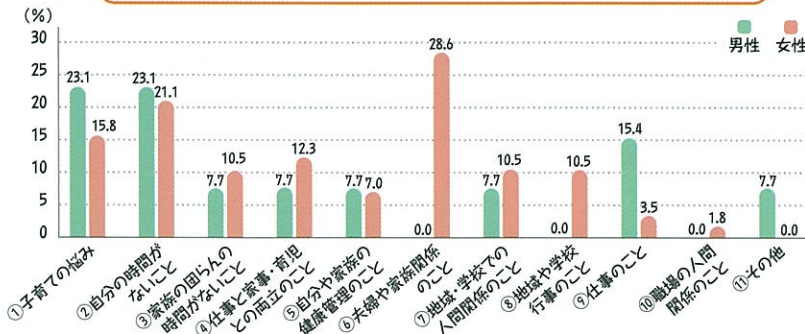
混雑する中でアンケートのご協力ありがとうございました。子育て世代のご意見として今後の活動につなげていきたいと思います。

アンケート結果

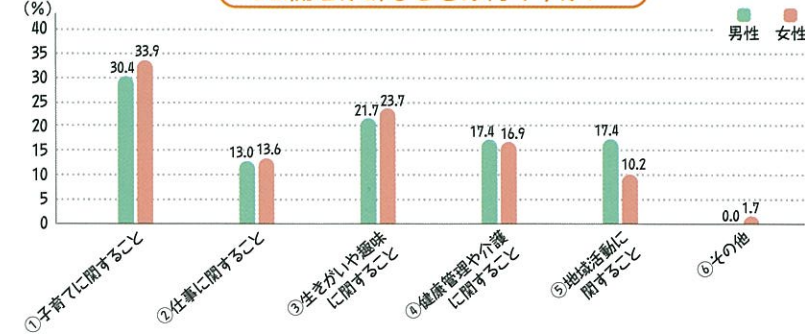
今、地域社会では女性が輝き・力を発揮していくための様々な施策が取り組まれています。そこで、家族フェスタの会場で、皆さんが日頃感じていることを今後の男女共同参画推進事業に活かすため、アンケートにご協力いただきました。

男女ともほぼ同じようなことに悩んだり関心があったりするようですが、女性が地域や人間関係で悩んでいることが多いのに対し、男性は仕事の悩みを持っている人が女性より多く、また、子育てや地域行事にかかわる時間が取れない分、そこに悩みや関心があるということが見えてきました。

Q1. 日頃感じたり悩んだりしていることはありますか?



Q2. 関心があることは何ですか?



inゆめ!さくら博

市男女共同参画推進委員会は、「ゆめ!さくら博」において、活動紹介の資料展示とアンケートを実施しました。

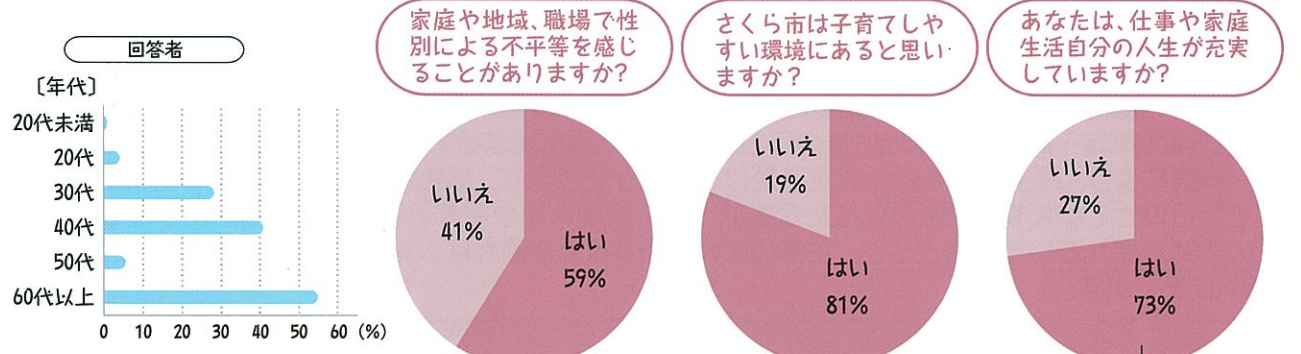
アンケートは世代別の大人と小中学生に分けた設問に、シールを貼って答えていただきました。子育て世代と60代以上に回答が集中していますが、会場へ来場されている年代層の様子と同じ状況でした。

アンケート結果で印象的だったのが、昨今のリタイア後の高齢者を取り巻く世情の中で、人生が充実していると答えた方が、60代以上にとっても多かったことです。また一方で、家庭や職場での性別による不平等を感じるという答えも、幅広い世代でありました。小中学生の男女らしさや家事協力等の設問の答えに、現実的な様子も垣間見えます。皆さんは、個々のアンケート結果をどう思われますか?

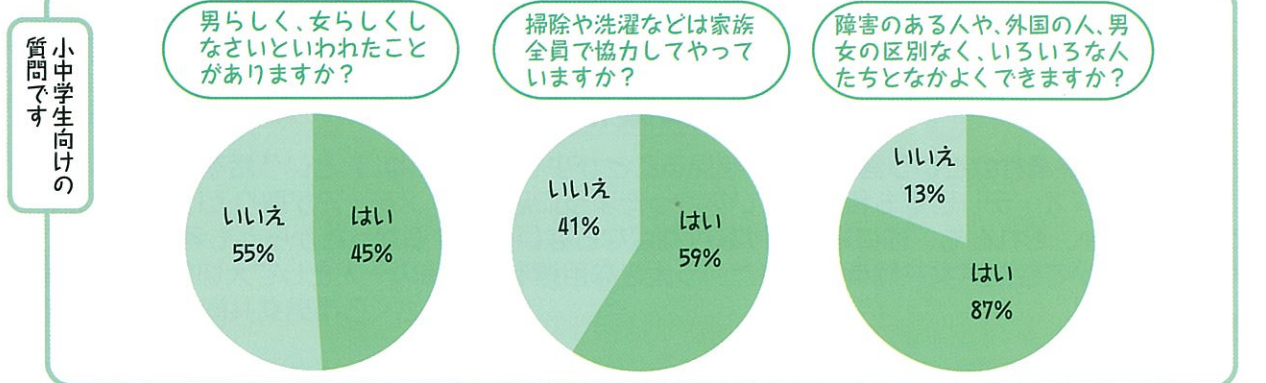
男女が認め合い助け合える社会に向けて、私たち委員会も啓発活動に努めていきたいと思います。

最後に、アンケートへご協力をいただきありがとうございました。

アンケート結果



自分が介護・介護が必要になったら、誰に看てもらいたいですか?



生きやすさ、暮らしやすさを求めて ～男女共同参画社会の実現とは～

「男女共同参画社会の実現」とは、日本の社会・歴史・文化が作り出した性差（ジェンダー）に基づく役割分担論を解消し、家庭や社会での男女の共同参画を目指すものです。

1995年第4回世界女性会議において、「開発、貧困、暴力」等あらゆる問題を女性の視点から討議することの重要性が求められ、男女という枠組みからだけでなく、「個」という枠組みを考慮する取り組みが世界で進められています。日本でも、平成11年に「男女共同参画社会基本法」が制定され、性別にかかわらず生きやすい社会づくりの推進が図られてきました。

地域や日常生活・職場等で理不尽な思いをすることはたくさんあります。それは、人間社会の中で避けては通れないものかもしれません。しかし、「他」の違いを知り、少しでも互いを認めあう心の余裕を持てれば、もう少し生きやすい、暮らしやすい地域社会や家庭、職場等になるはず。子供たちの学校生活も同様と言えるでしょう。

現在、全国の市町村で「男女共同参画都市宣言」をして、より一層取り組みを進めようとする動きがあります。さくら市は、第3次さくら市男女共同参画推進計画「わたしとあなたのさくら市プラン」（平成26年度～30年度）を策定しましたが、まだその中の目標が十分に達成されているとは言えません。計画を絵に描いた餅にしないよう、「男女共同参画都市宣言」を目指して、市民ぐるみの活動にしていけたらと思っています。

宣言は、ひとつの目印であり、実行しなければ意味がありません。地道に、そして身近な活動を通し、固定観念と慣習を変えることは、将来の目標ではなく、現在の責務ではないでしょうか。

さくら市男女共同参画推進委員長 福田敦子

男女共同参画
新着情報

お知らせ

女性活躍推進法が成立しました！

女性が職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、「**女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)**」が制定されました。これにより、平成28年4月1日から、労働者301人以上の事業所は、女性の活躍推進に向けた行動計画の策定などが新たに義務付けられることとなります。

さらに！女性活躍推進に関する認定取得を目指しましょう！（優良企業認定）

行動計画の策定・届出を行った企業のうち、女性の活躍に関する取組の実施状況が優良な企業については、申請により、厚生労働大臣の認定を受けることができます。認定の申請は、都道府県労働局雇用均等室で受け付けています。認定を受けた企業は、厚生労働大臣が定める認定マークを活用することにより、女性の活躍が進んでいる企業として、企業のイメージの向上や優秀な人材の確保につながるなどといったメリットがあります。

研修会

フードバンクってな～に？「もったいない」食品から「ありがとう」の食品へ。

様々な理由から日々の食べるものに困っている人がいることを知っていますか？

日本では毎年何百万トンもの食べ物が、まだ安全に食べられるにもかかわらず廃棄されています。その一方では貧困線以下の生活を強いられている人が数十万人います。フードバンクは、そうした食べ物や家庭に眠っている食べ物を生活困窮世帯など、支援を必要とする人達に運び、有効に使ってもらう活動です。今、なぜ、フードバンクが必要なのでしょう？その背景にあるもの、フードバンクの仕組みと実態を知る講演会を開催します。（㊟市企画政策課 681-1113）

開催日時：平成28年1月27日(水) 10:00～

場所：氏家公民館 ホール

編集後記

「最近、男女共同参画社会という言葉や文字を見ることが少なくなったね。」という話を聞いた。そう言われてみれば、新聞・ラジオ・テレビでも私は見ていなかったように思った。メディアが取り上げないのは新鮮味がなくなってきたせいか、それとも、他に取り上げなければならない事象が多かったからとも考えられる。

何年もかけて築いてきた男女共同参画社会という大きな目標を、市民の一人として大切に、自己実現したいと思う。
さくら市男女共同参画推進委員 Y.W